

中一国語科通信

第六回

世の中に多い反対ことば

みなさん、こんにちは。みなさんは、「反対ことば」と聞いて、どんな言葉が思い浮かびますか。

「大きい」と「小さい」、「前」と「後ろ」など、様々な言葉が出てきたのではないでしょうか。この反対ことばのことを難しい言葉でいうと、「**対義語**」といいます。この「対義語」は、今みなさんの身の回りにたくさんあります。学習プリントには10個の対義語問題を出していますが、これはほんの一部です。

この「対義語」を、ゲームのように日常生活の中に取り入れてみると、おもしろい発見があるかもしれません。たとえば、このゲームを一人でやる場合には、自分で「10秒ルール」（一つの言葉を言ってから10秒以内にその言葉の対義語を言う）などを決めてやってみたり、二人組の対戦形式でやる場合には、この「10秒ルール」を相手に課して、相手が言えなかつたら、問題となる言葉を言つた方が1ポイント獲得といふように、家族でやつてみてもいいかもせんね。学習は、机に向かって行うやり方もあるれば、遊びの

中から発想を広げていく方法もあります。自分の工夫次第で、たくさんのやり方が見つかるのではないかでしょうか。特に、みなさんは大人に比べて頭がやわらかないので、きっと私以上に、おもしろい「対義語ゲーム」を発明してくれるのではないかと期待しています。もし、いいゲームができたら、教えてくださいね。

さあ、ゲームでたくさんの対義語が浮かんできたら、次に、その対義語をノートでもいらない紙でも何でもいいので、書き出してみましょう。みなさんは、どれくらいの数の対義語を見つけることができましたか。

ちなみに、学習プリントの答えは、

① 「大きい」、「小さい」

② 「広い」、「狭い」

③ 「遠い」、「近い」

④ 「多い」、「少ない」

⑤ 「古い」、「新しい」

⑥ 「暑い」、「寒い」

⑦ 「厚い」、「薄い」

⑧ 「熱い」、「冷たい」

⑨ 「暖かい」、「涼しい」

⑩ 「温かい」、「ぬるい」・「冷たい」

（⑩は、なぜ二つか、分かるかな？短文をつくると、分かるよ。）となります。

【この漢字分かるかな？】

これらを、それぞれ「どんな基準で反対なんだろう？」と考えてみると、またおもしろいことが分かるではないでしょうか。それは、大きさなのか、距離なのか、他にも、数、新しさのかなど、一つ一つがちがう基準をもつていてることに気づかされます。

また、同じ「あつい」でも、漢字がちがうだけで、意味が変わってくるのもおもしろいと思いませんか。こうして考えてみると、「対義語」の世界は奥深いなと思うのです。

今日は、待ちに待ったマンガの発売日だ。こつこつとおこづかいをためて、この日を待っていたんだ。はやる気持ちをおさえながら、近所の本屋に行った。手に入れた本を手にとり、ページを閉じると、主人公と他の登場人物達のやりとりに思わず笑ってしまった。あっという間に時間が過ぎるほど、つまらなかつた。



【こたえ】

- ①ページを閉じる→ページを開く
- ②つまらなかつた→おもしろかった

* ⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
梅 桜 桜 桜 向日葵 藤 紫陽花 公英 蒲公英 薔薇 山吹 椿 朝顔 菜の花

* このクイズの答えは、次号に載せます。

右の写真もこの中にありますよ。



一雨ごとに草木がみずみずしく、緑を輝かせる季節になりました。散歩中に周りを見ると、様々な花々が目を楽しませてくれます。そんな植物の名前を漢字で書くと、次のようにになります。さて、みなさんは、いくつ分かれますか？